

よい食習慣で元気な子

子供たちとおばあちゃんの料理教室



▲いっしょに楽しく料理する参加者たち

孫と祖父母の料理教室は12月20日、いちばん館にて行われ、子供19人とおばあちゃん達（母親も含む）11人の合わせて30人が「花びら寿司」、「デコレーション押し寿司」とあさ漬け、すまし汁などの作り方を学びました。

村食生活改善推進協議会主催のこの事業は、小児生活習慣病予防対策の一環として、子供たちにバランスのよい食事について考えてもらい、いつもは孫に甘い祖父母にも子供に必要な栄養の取り方やおやつとの与え方を考えてもらおうと行われたものです。

教室では2人の村食生活改善推進員が料理の指導にあたりました。

料理は4班に分かれて行われ、子供たちは小さな手で器用にたまごを割ったり、おばあちゃんと一緒におすしを巻いたり、楽しそうに料理を作っていました。

料理完成後は試食となり、子供たちは自分で作った料理をおいしそうに食べ、その出来栄えに満足していました。また、おばあちゃんたちも孫と一緒にのひとときを楽しんだようです。



未来を担う子供たち 大きく育て までいに育て

飯館村のここ2～3年の出生数は、年間60人～70人前後で推移しています。

昔は、隣近所に子供たちのガキ大将がいて連れ立って遊んでいましたが、今は遊ぼうにも隣近所に同年代の遊び相手がいません。そこで村では、遊びの教室を開いて、親と子が同じ年齢の子供たちと遊んでもらおうとみんなのひろばを実施しています。

みんなの広場

平成15年11月16日実施 親子で43名出席

対象：2歳半～3歳半

目的：今回の目的は、子ども達のがのびのびと体を動かす事ができる。

歩く、走る、転がる、投げる、蹴る、はねるなど人間の基本的な動き、バランス感覚をお友達と一緒に養う。

子供たちの発達には、遊びの中からはぐくまれます。

次回は、3月に予定しております。みんなで来てね。

